

供給者に対する意見照会結果

質問事項	割合(%)
●全分野共通	
政府調達に関する年度当初の提供情報の活用	
a 有益であり、積極的に活用している	22.2%
b 時々活用している	41.7%
c 活用していない	36.1%
個々の調達案件に関する情報提供方法の利便性等	
a 十分満足できる	20.6%
b ある程度満足できる	64.7%
c 不満足である	14.7%
「政府調達における我が国の施策と実績」について	
a 満足しており、活用している	11.1%
b ある程度満足している	38.9%
c 不満足	2.8%
d 利用したことがないので分からない	47.2%
調達実績一覧のホームページ掲載について	
a 満足しており、活用している	8.8%
b ある程度満足している	58.8%
c 不満足	2.9%
d 掲載されていることを知らなかった	29.4%
随意契約、指名競争の縮減による競争性、透明性の確保	
a 十分確保されている	22.2%
b ある程度確保されている	72.2%
c 確保されていない	5.6%
応札期間の延長について	
a 便益を受けている	44.8%
b 特に便益を受けていない	55.2%
資料提供招請・意見招請の基準額(80万SDR)	
a 適当である	88.2%
b 引下げが必要である	11.8%
c 引上げが必要である	0.0%
総合評価落札方式について	
a 適正な評価、競争性の確保に十分寄与している	17.1%
b " における程度寄与している	68.6%
c " に寄与していない	5.7%
d 総合評価落札方式による実績がないので分からない	8.6%
苦情処理制度活用の検討	
a 苦情処理制度の活用を検討したことがある	5.7%
b 苦情処理制度の活用を検討したことがない	80.0%
c 苦情処理制度について十分な知識を持ち合わせていない	14.3%

質問事項	割合 (%)
●電気通信・医療技術分野共通	
資料提供招請・意見招請の基準額(38.5 万SDR)	
a 適当である	88.2%
b 引下げが必要である	5.9%
c 引上げが必要である	5.9%
総合評価落札方式の標準ガイドにおける評価方法	
a 適当である	40.0%
b 概ね適当である	60.0%
c 適当でない	0.0%
総合評価落札方式の導入基準額(38.5 万SDR)	
a 適当である	82.4%
b 引下げが必要である	11.8%
c 引上げが必要である	5.9%
技術仕様の公平性	
a 措置どおりに行われている	43.8%
b 概ね措置どおりに行われている	50.0%
c 措置どおりに行われていない	6.3%
●その他	
総合評価落札方式の標準ガイドにおける評価方法 (コンピューター(含むサービス)分野)	
a 適当である	12.0%
b 概ね適当である	84.0%
c 適当でない	4.0%
総合評価落札方式の導入基準額(80 万SDR) (コンピューター(含むサービス)分野)	
a 適当である	79.2%
b 引下げが必要である	16.7%
c 引上げが必要である	4.2%
「情報システムの整備及び管理に関する標準ガイドライン」による政府の取組み	
a 適当である	26.9%
b 概ね適当である	73.1%
c 適当でない	0.0%

※クエスチョネアへは計 38 者が回答。

※四捨五入により百分率の合計が 100%にならない場合がある。

※設問に無回答の者は除いた。

※「電気通信・医療技術分野共通」、「その他」については、「当該分野の調達実績がないので分からない」という回答は除いて集計している。